



第 390 号  
発行 2022年7月15日

佐賀市緑小路1-3  
社会福祉法人めぐみ厚生センター  
めぐみ園 0952(34)7722  
どりいむ 0952(34)7727  
E-mail s-megumi@basil.ocn.ne.jp  
富士学園 0952(63)0107  
ウイズ富士 0952(51)0063  
ピースハイム 0952(64)2012  
E-mail fuji-g@b2.bunbun.ne.jp

発行者 栗林 恵一  
印刷所 (株)古川総合印刷

ホームページURL <http://www.megumikousei-center.org/>

医療法人慈孝会七山診療所の阿部智介です。診療所がある佐賀県唐津市七山(旧七山村)は、佐賀市と佐賀市と側で接しています。唐津市と佐賀市と聞けば、生活圏も異なり何となく遠いような感じもしますが、七山と富士町は隣同士で生活環境も似ています。そのような場所でもあり、今年二月に富士学園で発生した新型コロナウイルス感染症大規模クラスターの初期対応を佐賀県から依頼され、大和町の満岡先生と共に夜中まで対応しました。

夜遅くの診察になりましたが、施設職員の方々は不安な中でも入所者の方々を守るために創意工夫し、感染エリアや非感染エリアを分けたり、厳しい人員制限の中でもどうにかして戦おうとされていました。私は普段から様々な高齢者施設での感染管理を行っています。知的障がい者施設での感染管理は特有の様々な課題を抱えており、そのコントロールの困難さを痛感しました。

その中でも特に印象的だったのは、施設職員の入所者への対応です。おそらく、施設職員も見えないウイルスと



「いきかた」を知ること」

医療法人慈孝会 七山診療所  
所長 阿部 智介

の戦いにおいて、自らの感染に対する恐怖心というものは相当なものだったと思います。そのような状況で、普段生活している環境とは異なり不安を抱き落ち着きがなくなる入所者に対して、施設職員は入所者のそばに寄り添い優しく声をかけたり、体をさすったりしていました。極限の状況においても、寄り添うことを忘れていない施設職員の姿勢に感動したのを覚えています。

ただ、残念なこと今回の大規模クラスターにおいて、直接の因果関係ははっきりしないなかでもお亡くなりになった方がいらつしやうたことも聞いております。新型コロナウイルス感染症患者の対応を行い様々な現場を見続けてきた者として、ご家族や施設職員の心中を思うと大切な命が失われてしまふという現実にとても胸が苦しくなります。ご家族においては厳しい状況で会うこともできない中で、様々な決断を迫られることもあつたと思います。私が担当している高齢者施設でのクラスター事例においても、最期を覚悟して施設内で感染者を看っていくかどうか

という話し合いを家族や施設職員と行うこともありました。

しかし、そのような判断を突然迫られることは、新型コロナウイルス感染症に限らず起こりうることであり、すでにご家族やご自身、ご親戚等で経験されてある方もいらつしやるのではないのでしょうか。私自身も約十年前に父が急逝した際には、看取りまでの数時間の間に様々な葛藤がありました。それは、意思表示ができないような状態や治る見込みがないようなときに、どのような最期の生きかたを望むのかということ、父が元気なときに話したり考えたりしていなかったからです。

その人がその人であるために必要なことは何でしょうか。それは、その人自身の意思が存在し、尊厳が守られているということではないかと思えます。

その方にとっての最善の生きかたを考えた場合、意思表示ができる方であればその人の思いを中心に、関わる人たちも一緒に考えていけば良いと思いません。しかし、老若男女を問わずに自らが意思表示できなくなる「もしもの時」は誰にでも起こりうることです。その方が意思表示できない状況にあれば本人が望まない形へと進むこともあるでしょうし、家族等の大切な人たちが悩み苦しむことになる可能性があります。そのようにならないためには、どうしていけばよいのでしょうか。

その方法としてAdvance Directiveがあります。日本語では「事前指示」

と訳されており、意思表示できなくなつてしまふもしもの時のために、自らの最期の在りかたに関して事前に意思表示しておくことです。また、事前指示には内容指示と代理人指示が含まれています。内容指示は、治る見込みがないような状況のときに延命措置を行うのかどうかということや、どのような療養を望むのかという自らの希望を示すものです。イメージしやすいのはエグゼクティブノートではないでしょうか。その内容は、終活に重点が置いてあるので財産やお墓のことなど沢山のこと盛り込まれています。その一方で、日本尊厳死協会が作成している尊厳死宣言書（リヴィングウィル）は、人生の最終段階における医療に関することに焦点が当てられています。

そして、代理人指示はその人が意思表示することが難しい状況になったときに、その人に代わって本人にとって最善となる方向性を関わる人たちの中心となって考える人を指示しておくことだと理解しています。代理人にとって重要なのは書類にサインするということではなく、意思表示できなくなつた人の人生観や価値観といった考え方や思いを十分に理解し、その人にとっての最善とは何かということその人の代理として、その人に関わる人たちと一緒に考え抜くことができるということだと思えます。

そのようなことから、代理人となる方はその人との話し合いをしつかりと

行つておかなければならないですし、代理人を依頼する人もしっかりと自身の考え方や思いを伝えておかなければなりません。

そのような話し合いをAdvance Care PlanningとよぶACPと略されます。これは、もしもの時のために事前に自らの治療やケアについての希望を話し合い、共有するということです。また、厚生労働省がACPの愛称を「人生会議」としていますので、聞いたことがある方もいらっしゃるかと思います。

事前指示を考え始める時には、家族など大切な人たちと人生会議を行い、自らの考え方や思いを言葉にしていき、可能ならば文書に残したりすればいいでしょうし、それはその人の心の揺らぎに応じて繰り返し行われることが大切で、そのなかで分からないことがあれば、かかりつけ医等の専門職に相談してください。

そして、最終的にその人が意思表示できなくなった時には、事前指示をもとに代理人や医療・介護で関わっている専門職等で話し合い、現状と照らし合わせてその人にとっての最善が何かということを様々な方向から考え抜いて検討し、共有していくことも大切な人生会議です。

たとえ、本人に障がいがあったとしても、そのようなプロセスを経ていくことが、その人の意思や尊厳を守ることに繋がるのだと思います。

## めぐみ園

ぶどうの木コンサート!

六月十四日  
(火) ぶどうの木クリニックより二名の方と研修医の方々が来園され、楽しいミニコンサートが開かれました!



♪ 楽しい時間をありがとうございます ♪

## じゃがいも掘り

六月下旬、めぐみ園の畑ではじゃがいもの収穫が始まりました。今年は何年以上の大豊作! 多くの方々が収穫を楽しみました!



みんなで協力し大収穫!



厨房でポテトチップスに!

# 富士学園・ウイズ富士 ふれあいフェスタ 2022



五月二十七日(金)  
「ふれあいフェスタ」  
が開催されました。  
今年も新型コロナウイルスの影響で、ご家族が不参加となり、富士学園とウイズ富士が別々の会場で、更に富士学園もサンライフとパールライフが午前と午後に分かれての開催となりましたが、各会場で趣向を凝らした種目を行い、皆さん笑顔で楽しんでおられました。

## 富士学園

### たこ焼きパーティー

五月初旬、サンライフ(男性棟)の職員と利用者の皆様で、たこ焼きパーティーを開催しました。職員が専用のホットプレートで焼き上げた出来たて熱々のたこ焼きをデザートと一緒に皆で美味しくいただきました。



### 健康診断・ワクチン接種

六月七日(火)富士学園にて、健康診断と三回目の新型コロナウイルスワクチン接種が行われました。接種後、皆さん大きな副反応も無く、無事に接種を終えることが出来ました。



## ピースハイム

### 楽しいひと時

ピースハイム金立IIで誕生日会が開かれ、山下洋子様が手際良く切られた色々な果物で、フルーツポンチを作られました。夕食後、ホームの皆さんと一緒に美味しく食べられたとのことでした。



### 床の張り替え工事

四月下旬、オリープの台所と食堂、リビングの床の張り替え工事が施行されました。家具等の移動も同時に行われ、ゆとりのあるリビングに生まれ変わりました。



### 水難の避難訓練実施

平成二十九年度に避難確保計画の作成、避難訓練の実施が義務化されたことに伴い、四月二十七日に、一年に一回の水難訓練が富士方面及び、金立方面で実施されました。

# ふれあい

## 花の日訪問

(めぐみ園)

六月二十日(月)

めぐみ園では花の日訪問が始まりました。これは日頃お世話頂いている方々へ感謝の気持ちを伝えるもので、今年も、東与賀町役場や社会福祉協議会、タフセ理容さんなどに、お花と園で採れた野菜を持って伺いました！



いつもありがとうございます！

## 聖句

わたしたちは神のために力を合わせて働く者であり、あなたがたは神の畑、神の建物なのです。

(コリント信徒への手紙)

第三章九節

## 日帰り旅行

(めぐみ園)

六月十五日(水)めぐみ園では、今年度の日帰り旅行が始まりました。第一回目は、三名の方々と職員一名で唐津方面！唐津城も見学し楽しい時間を過ごすことが出来たようです！



天候にも恵まれ良い時間を過ごせました

## 告別式

(富士学園)

六月十七日(金)に天に召された故大浦里美様の告別式が六月二十一日(火)にしめやかに執り行われました。謹んでご冥福をお祈りいたします。



皆様ありがとうございました  
(五・六月分)

### ◎めぐみ園へ

●森永弘太様より

寄付

●明治安田生命佐賀南営業所様より

寄付

●めぐみ園家族会様より

寄付

### ◎富士学園へ

●永瀬浩一・早苗様より

タオル多量寄贈

●富士学園家族会様より

DVD・カラオケ機器寄贈



## 何でもコーナー

### 夏の風物詩、ひまわり！

夏の風物詩の花と言えば「ひまわり」。多くの方に愛されている花の代表とも言えます。ひまわりはキク科の一年草で、花期は七月から八月。丁度今、きれいな花を咲かせています。なんと約三百種類もあるそうです。この夏、様々なひまわりを見て、来年ぜひ育てて見られてはいかがでしょうか！



ちなみに、ひまわりの種まきの適期は四月中旬から五月中旬です。

## あしがき

今年も早いもので半年が過ぎ、暑い夏を迎えようとしています。ここ数年、全国的に大きな災害が増えており、いつ、どのようなことになるか、誰もが想像がつかない時代になりました。日頃から、いざという時のことを考えて、安心した生活を送りたいものです。